

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	16 火葬場・墓地
事務事業名	01	斎場維持管理事業	
根拠法令・例規等	備前市葬儀条例及び規則 日生町斎斎場及び葬祭事業に関する条例及び規則		
問	担当課(室)	環境課	
合	職・氏名	衛生係長・古松健二	
先	電話	64-1821	
このシート作成に要した時間			3.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	祭壇・霊柩車・斎場を利用するすべての市民(祭壇・霊柩車については備前地域のみ) 斎場を利用する市外の利用者
目的(何のために)	適正な火葬及び祭壇業務の執行。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	葬儀を執行するにあたり、火葬炉施設の故障や職員の対応等により、利用者に不快感を与えない。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	備前斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために備前斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	
	日生斎場維持管理事業	適正に火葬を執行するために日生斎場・霊柩車等の維持管理を行う。	
	県トラック協会会費	県内の営業用自動車所有者で組織されている岡山県トラック協会の会費	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		23,123	32,787	25,902
	必要人員(人件費)	千円	2.16人	12,049	2.15人
	事業費		35,172	45,369	38,614
	国県支出金				
	受益者負担		7272	6699	6,570
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源		27,900	38,670	32,044	
受益者負担比率	%	20.7%	14.8%	17.0%	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
火葬執行数(備前斎場・日生斎場)	説明	備前斎場及び日生斎場の1年間の火葬執行件数	464	421	467
対前年比	%		90.7%	110.9%	
活動コスト			35,138,000	45,335,000	38,534,000
単位当たりコスト	円		75,728	107,684	82,514

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		目標値(A)			
		実績値(B)			
達成率(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

斎場維持管理業務は、成果指標となる判断基準が無い。

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標がら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	火葬炉施設の適正な維持補修整備を行う。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>
施設の老朽化等により、施設の維持費は年々増加していくと思われる。現状では、コストの削減は難しい。祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため廃止もしくは業務の縮小が必要である。備前斎場と日生斎場とで、使用料が異なるため統一する必要がある。			B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	葬祭施設の補修整備を行う。 備前斎場と日生斎場とで、使用料が異なるため統一する方向で検討する。 祭壇業務については民間に同一のサービスがあるため廃止もしくは業務の縮小で検討する。					